

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2019-50981 (P2019-50981A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2017-176372 (P2017-176372)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 20 日 (2020.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機であって、
音を出力する音出力手段と、
遊技者による所定操作を受付ける第 1 受付手段と、
遊技者による特定操作を受付ける第 2 受付手段と、
前記第 1 受付手段が有効に受付けた前記所定操作に基づいて前記音出力手段から出力する音の音量を設定するための音量設定制御を行う音量設定制御実行手段と、
前記第 2 受付手段が有効に受付けた前記特定操作に基づいて前記遊技機に関する情報を閲覧可能にする閲覧手段と、
前記第 2 受付手段が有効に受付けた前記特定操作に基づいて演出態様が変化する所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、を備え、
前記所定演出が実行されるときと実行されないときとがあり、
前記第 2 受付手段は、
前記所定演出が実行されるときは、前記可変表示部の変動表示が停止したことに基
いて、前記特定操作の受付を有効にし、
前記所定演出が実行されないときは、前記可変表示部の変動表示が停止してから所定期間経過後に、前記特定操作の受付を有効にし、
前記第 1 受付手段は、
前記所定演出が実行されないときは、前記可変表示部の変動表示が停止した以降であ
って前記第 2 受付手段が前記特定操作の受付を有効にするよりも前に、前記所定操作の受
付を有効にする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

このような遊技機として、音量調整操作が行われたときに音量調整表示を行うことが可能な遊技機が知られている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかし、特許文献１の遊技機は、煩わしさを感じさせるおそれがある。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機であって、
音を出力する音出力手段と、
遊技者による所定操作を受付ける第１受付手段と、
遊技者による特定操作を受付ける第２受付手段と、
前記第１受付手段が有効に受付けた前記所定操作に基づいて前記音出力手段から出力する音の音量を設定するための音量設定制御を行う音量設定制御実行手段と、
前記第２受付手段が有効に受付けた前記特定操作に基づいて前記遊技機に関する情報を閲覧可能にする閲覧手段と、
前記第２受付手段が有効に受付けた前記特定操作に基づいて演出態様が変化する所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、を備え、
前記所定演出が実行されるときと実行されないときとがあり、
前記第２受付手段は、
前記所定演出が実行されるときは、前記可変表示部の変動表示が停止したことに基
いて、前記特定操作の受付を有効にし、
前記所定演出が実行されないときは、前記可変表示部の変動表示が停止してから所定期間経過後に、前記特定操作の受付を有効にし、
前記第１受付手段は、
前記所定演出が実行されないときは、前記可変表示部の変動表示が停止した以降であ
って前記第２受付手段が前記特定操作の受付を有効にするよりも前に、前記所定操作の受
付を有効にする、遊技機。

別の観点の遊技機は、

遊技を行う遊技機（たとえば、遊技機１）において、

遊技者の操作（たとえば、十字キーの操作による音量設定開始操作、十字キーの操作による楽曲設定開始操作、メニュー状態におけるプッシュボタン５６の操作）に応じて、遊技者の特定操作（たとえば、十字キーの操作による音量選択操作、十字キーの操作による楽曲選択操作）を受け付ける特定状態（たとえば、音量設定状態、楽曲設定状態）に制御する特定状態制御手段（たとえば、図２～図４に示す部分、図７のＳｂ３、Ｓｂ６、Ｓｂ５の処理を行う部分）と、

前記特定状態を終了させる特定状態終了手段（たとえば、図２～図４に示す部分、図７のＳｂ５の処理を行う部分）と、

前記特定状態に制御されていることを報知する報知手段（たとえば、図 2（c）（d）図 3（c）（d）図 4（c）（d）、図 6 の S c 1 1 , S c 1 4 の処理を行う部分）と、を備え、

前記特定状態終了手段は、

前記特定状態に制御してから第 1 期間（たとえば、5 秒）が経過するまでに前記特定操作が行われなかったときに前記特定状態を終了させる第 1 特定状態終了手段（たとえば、図 2 ～ 図 4 に示す部分、図 7 の S b 3、S b 5 の処理を行う部分）と、

前記特定状態に制御してから前記第 1 期間が経過するまでに前記特定操作が行われた場合に、該特定操作が行われてから前記第 1 期間よりも短い第 2 期間（たとえば、1 . 5 秒）が経過するまでに再度の前記特定操作が行われなかったときに前記特定状態を終了させ第 2 特定状態終了手段（たとえば、図 2 ～ 図 4 に示す部分、図 7 の S b 6、S b 5 の処理を行う部分）とを含む。

この構成によれば、特定状態に制御された後、遊技者の意図に応じた適切な時期に特定状態を終了させるため、遊技者が煩わしさを感じることを防止することができる。